

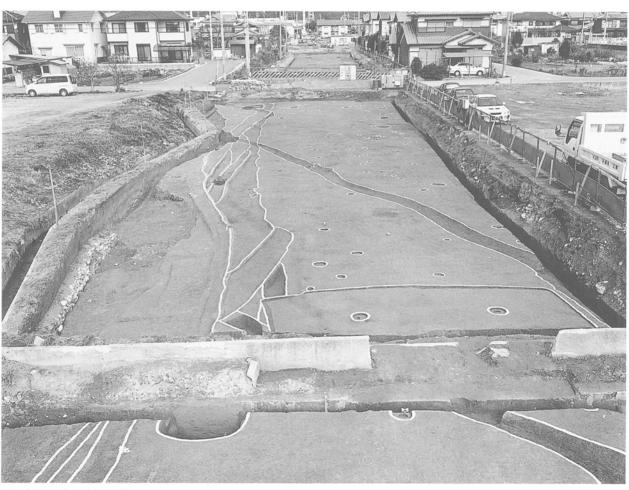
89. 上層 全景(上が北)



90. 下層 全景(上が北)



91. 上層 全景(北から)



92. 上層 全景(南から)



93. 下層 全景(北から)



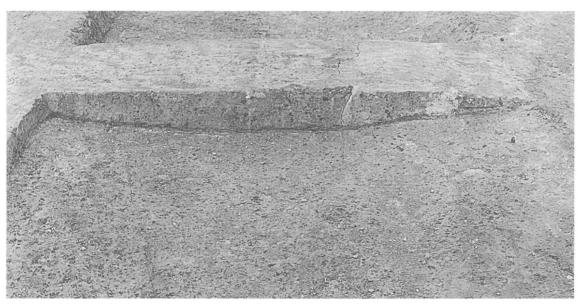
94. 下層 全景(南から)



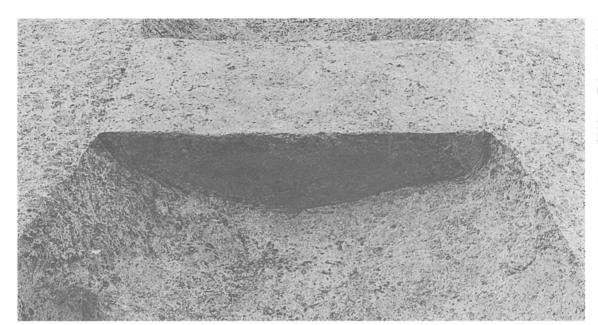
95. SD202断面(南から)



96. SD203・SD204・SD205断面(南から)



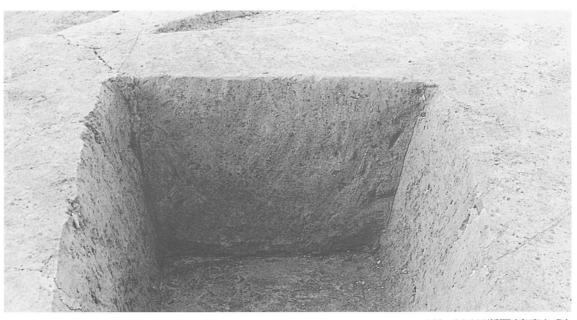
97. SD212断面(南から)



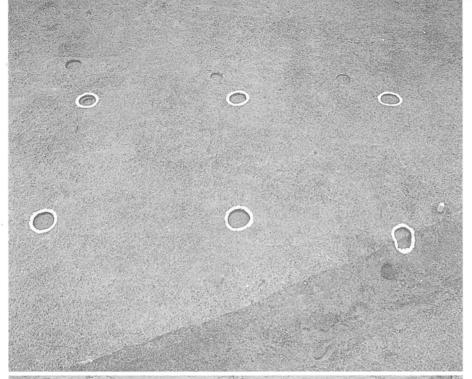
98. SD206断面(南東から)



99. SD214断面(南から)



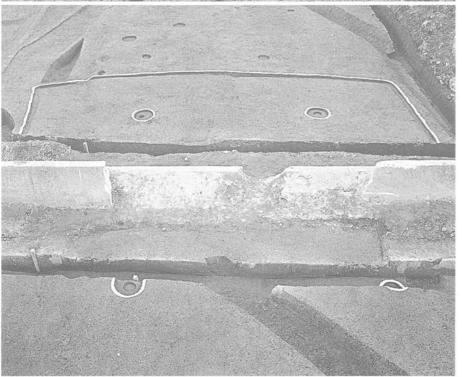
100. SD209断面(南東から)



101. SB231(西から)



102. SB232(北から)



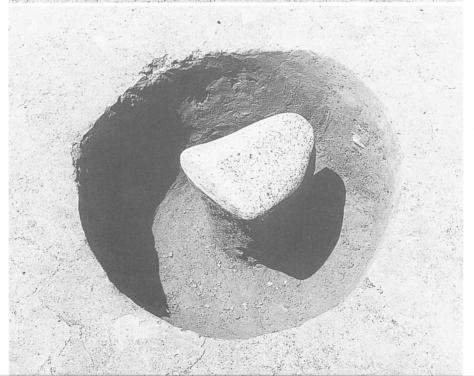
103. SH207(南から)



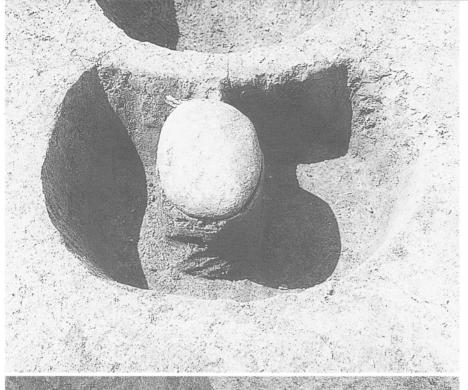
104. SK275(南東から)



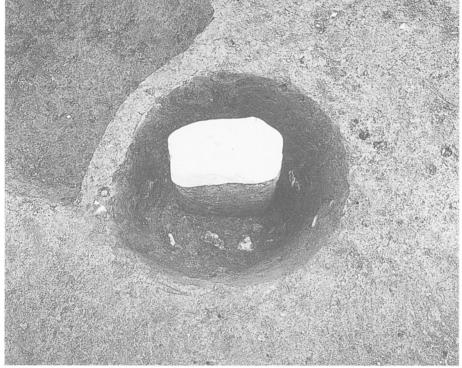
105. SK276(北から)



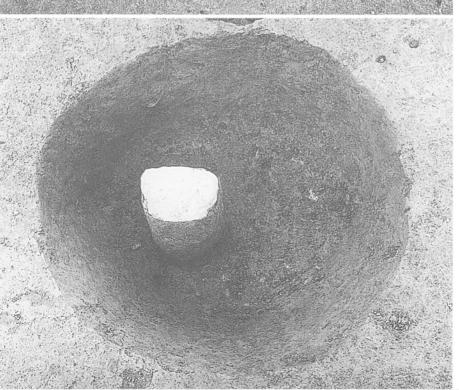
106. SK269(東から)



107. SK266(南から)



108. SK267(北西から)



109. SK264(東から)

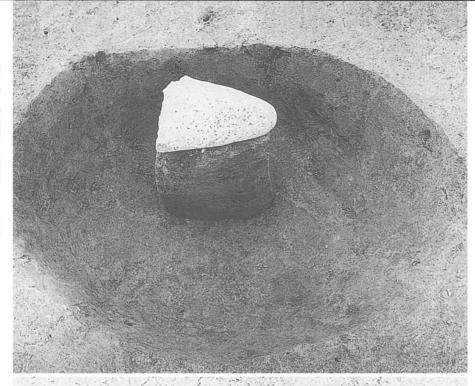


110. SK257(北から)



111. SK286(西から)

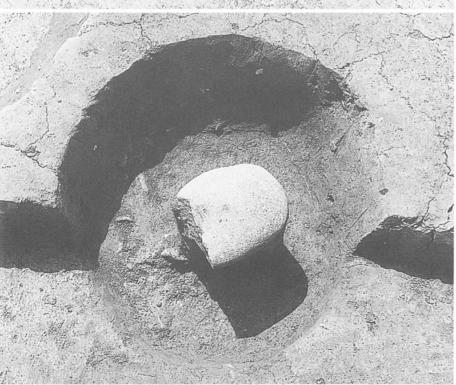




113. SK258(北から)



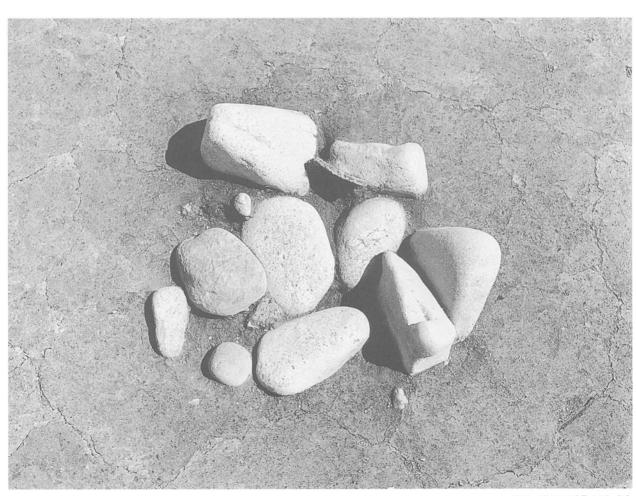
114. SK260(東から)



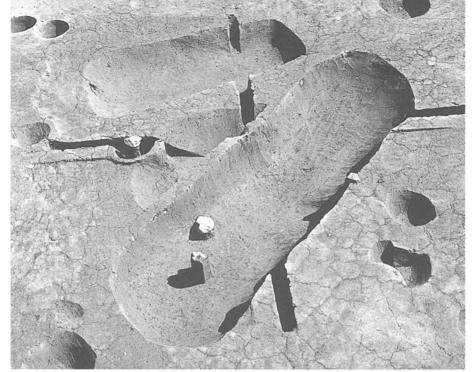
115. SK262(東から)



116. SK251(東から)



117. SK253(北西から)



118. SK280・SK281・SK283(北から)

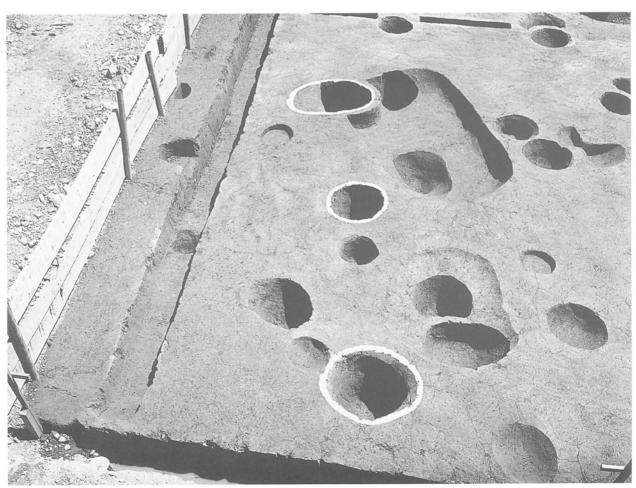


119. SK279(東から)

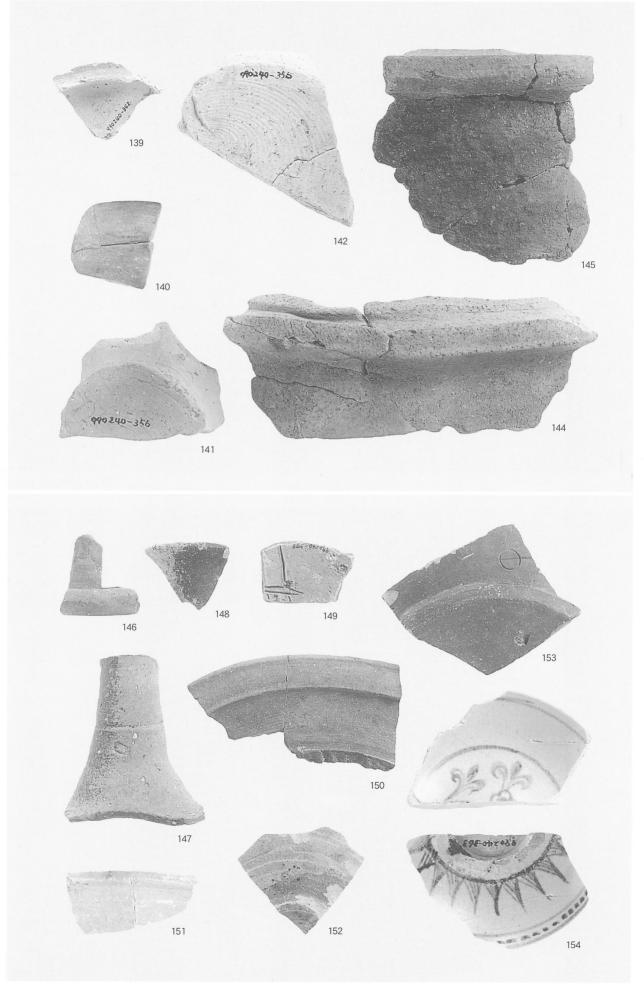


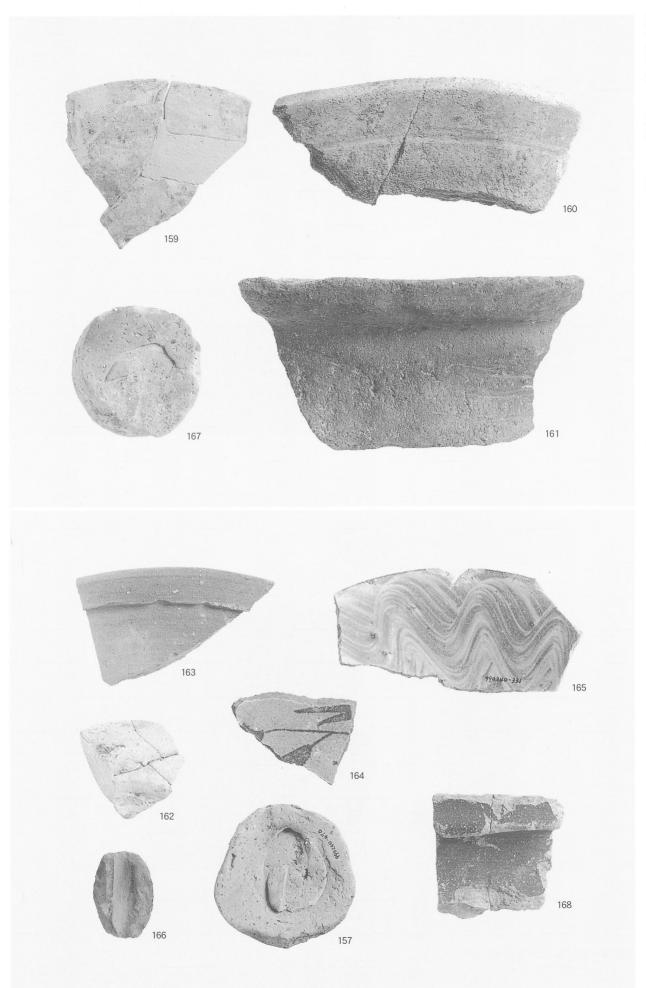
120. SK279内ピット(東から)

121. SK273(東から)

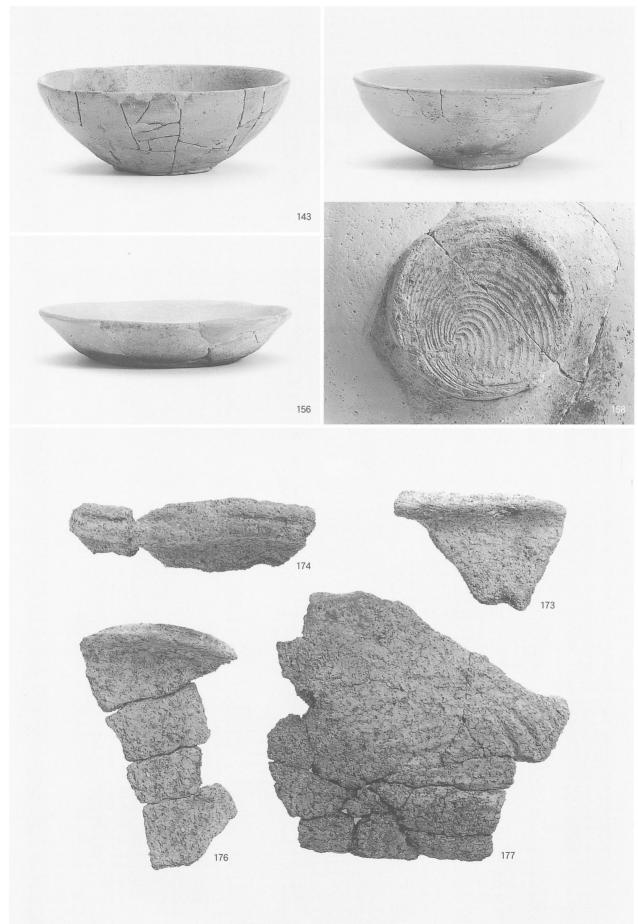


122. SB288(北から)

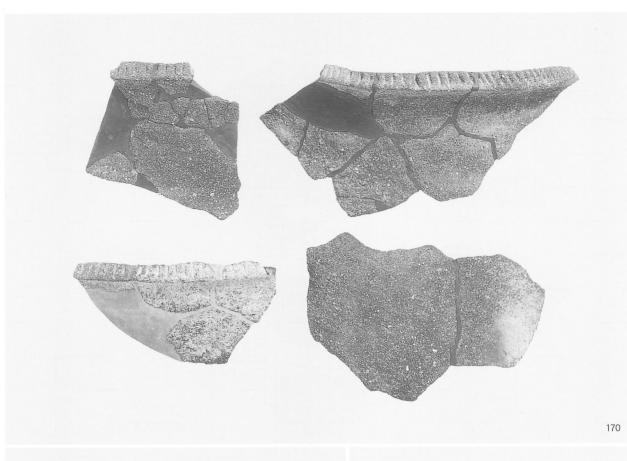




SD229・SD203・P215・SD201・上層包含層



SD229 • SD205 • SK251(1)

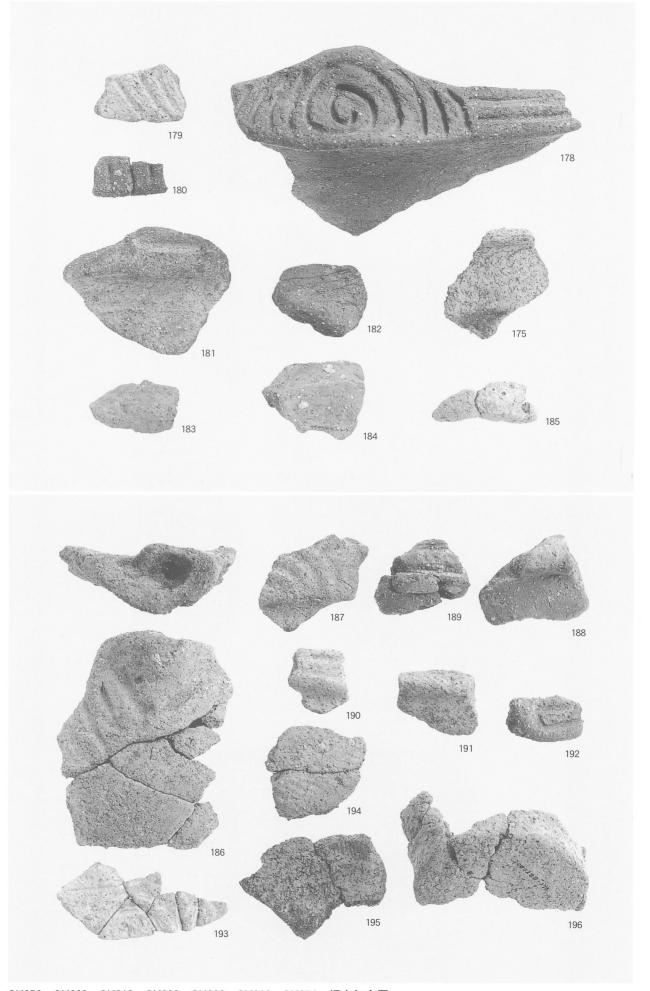


169

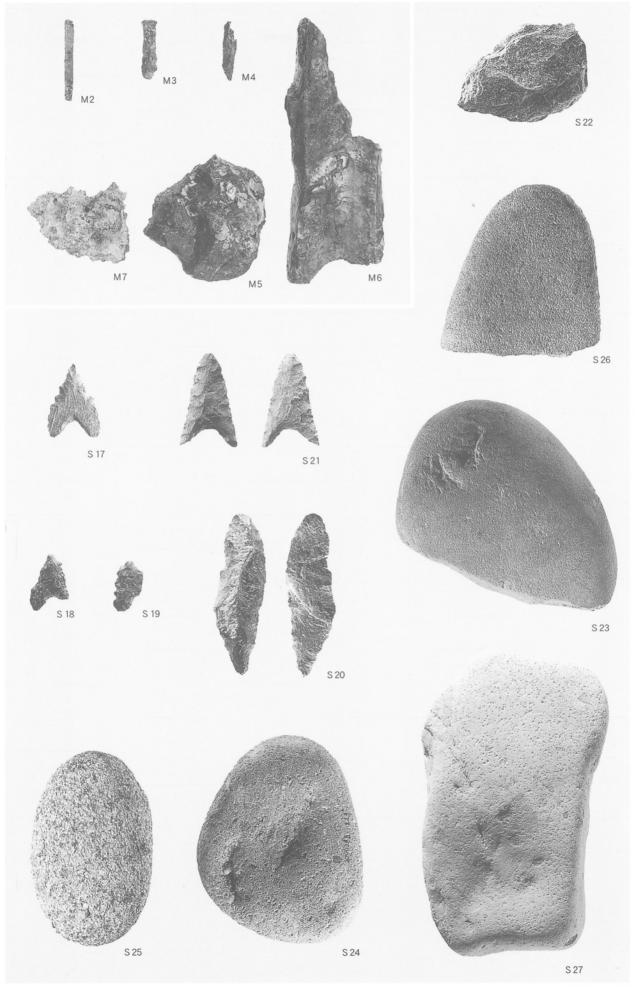








SK252・SK238・SK218・SK298・SK223・SK213・SK254・縄文包含層



鉄器、石器



123. 上層 全景(上が北)



124. 中層 全景(上が北)



125. 下層 全景(上が北)



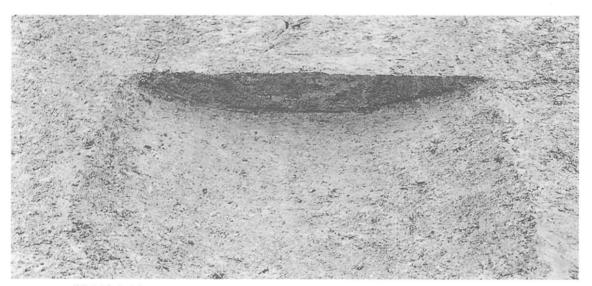
126. 上層 全景(北から)



127. 上層 全景(南から)



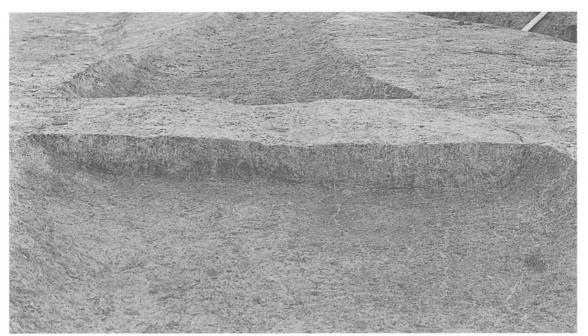
128. SD312断面(南から)



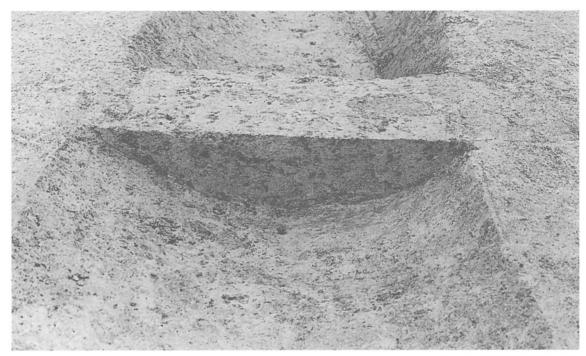
129. SD306断面(南から)



130. SD307断面(南から)



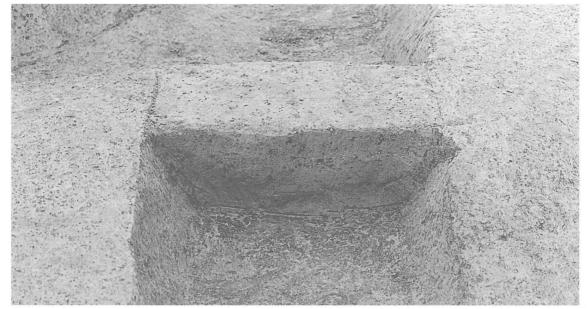
131. SD303断面(南から)



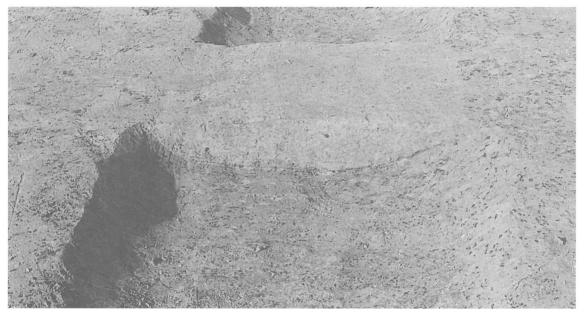
132. SD304断面(南東から)



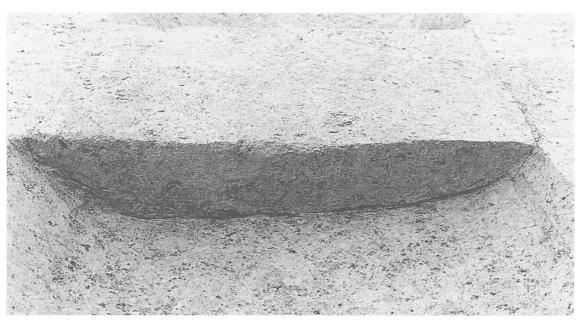
133. SD313断面(南東から)



134. SD314断面(南東から)



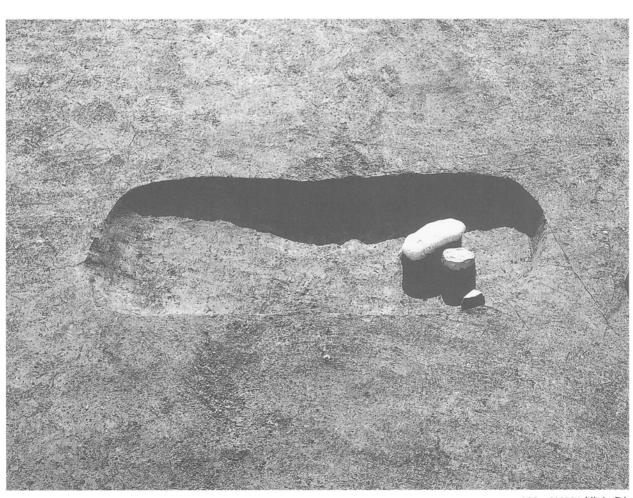
135. SD309断面(南から)



136. SD310断面(南から)



137. SK302(南から)



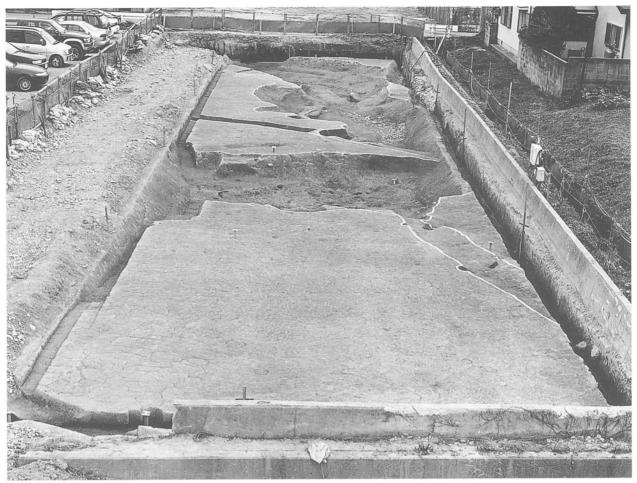
138. SK301(北から)



139. SD308(北西から)



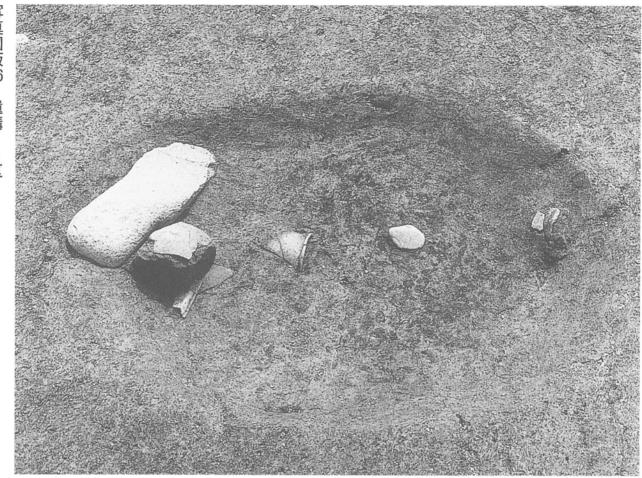
140. SD308断面(南東から)



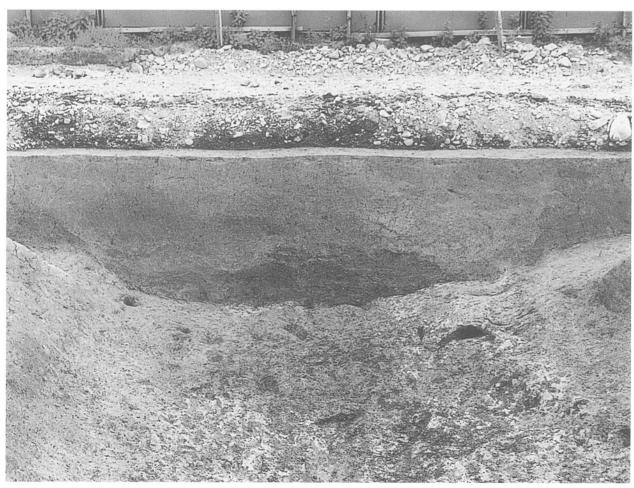
141. 中層 全景(北から)



142. 中層 全景(南から)



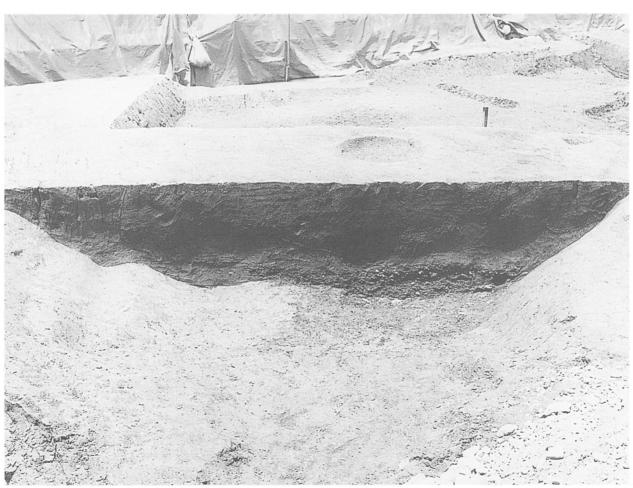
143. SK331(西から)



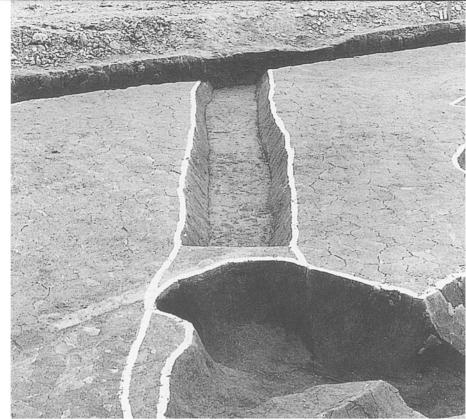
144. SD353断面(西から)



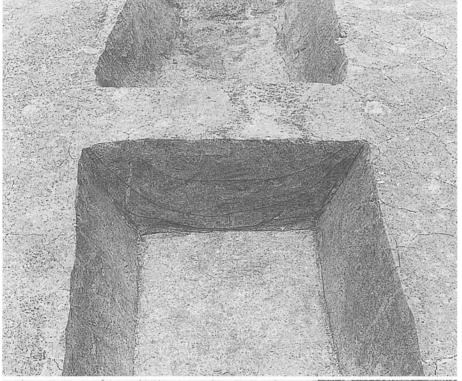
145. SD351(北西から)



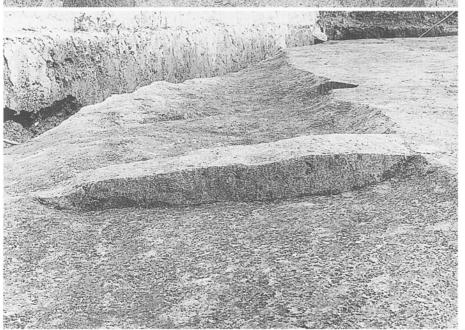
146. SD351断面(南東から)



147. SD352(西から)



148. SD352断面(東から)



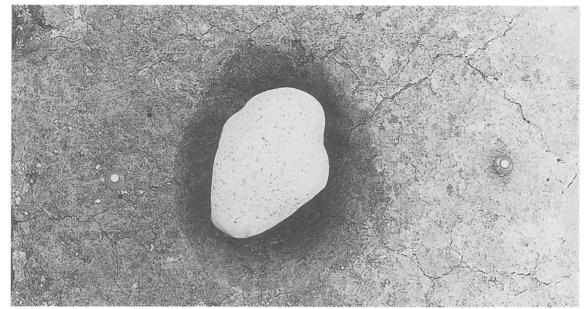
149. SD357断面(南東から)



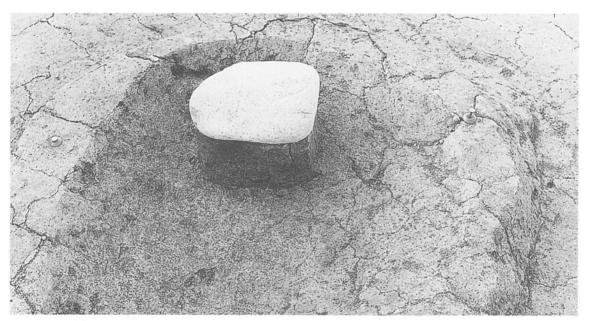
150. 下層 全景(北から)



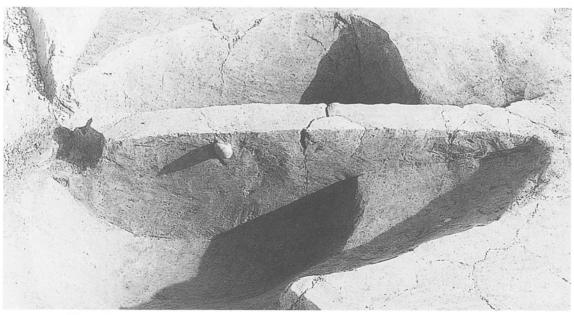
151. 下層 全景(南から)



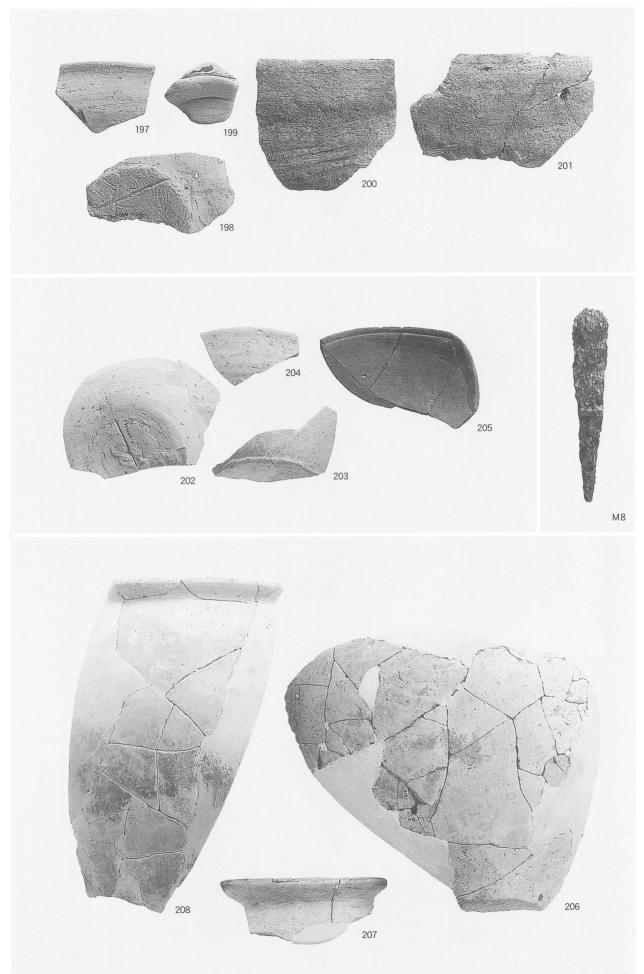
152. SK371(南から)



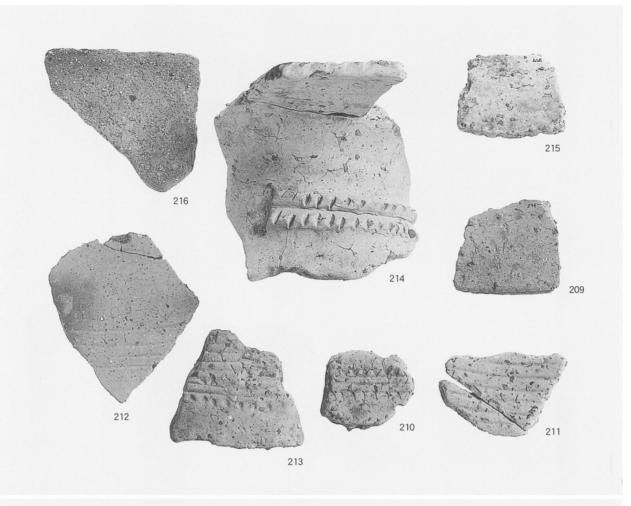
153. SK375(南から)

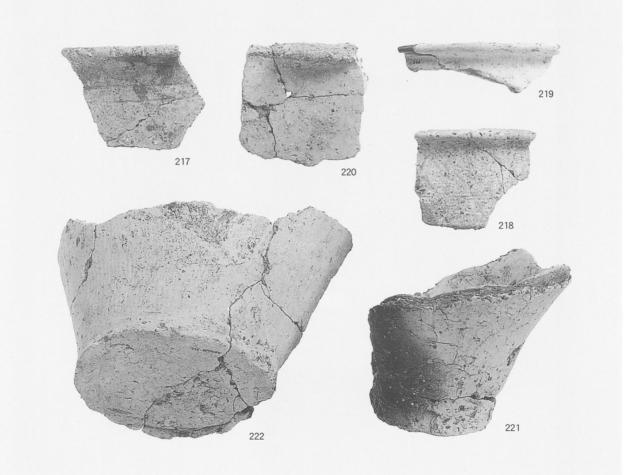


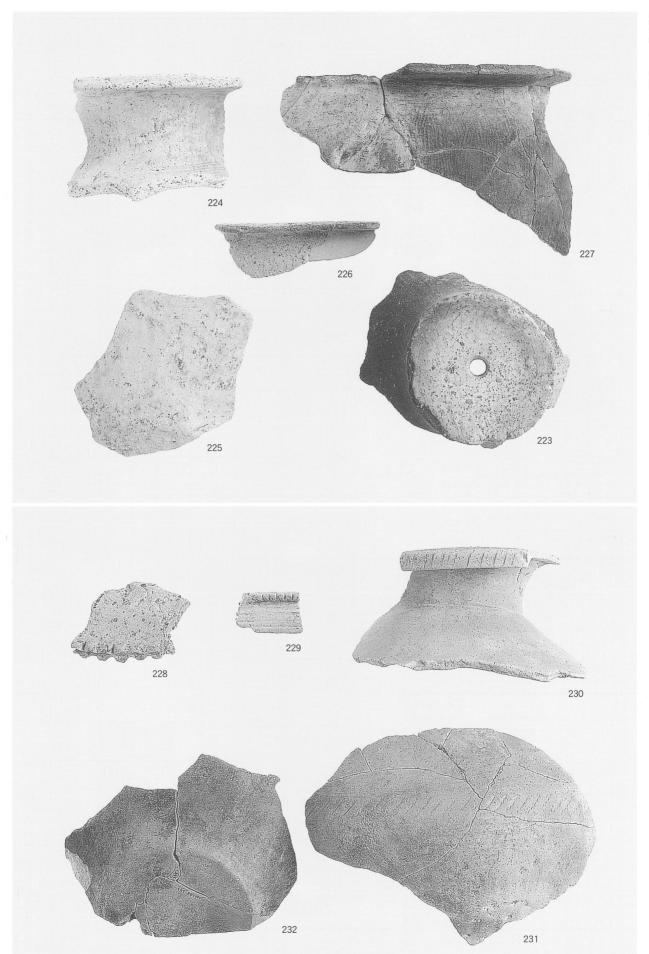
154. SK373(北から)

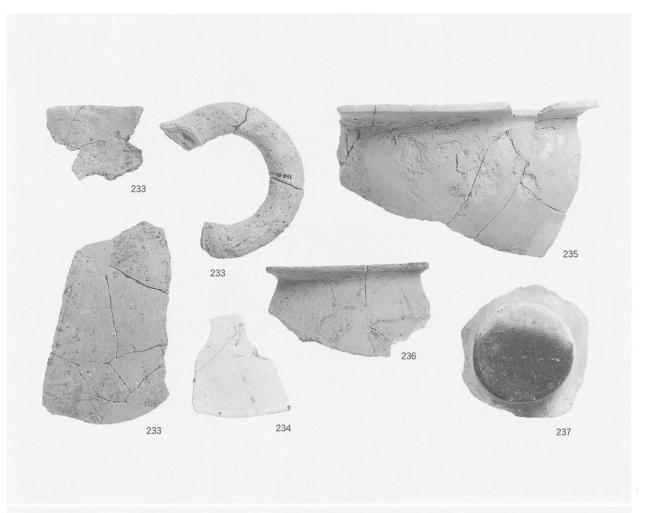


SD306・SD307・SD303・SD304・SK331、鉄器

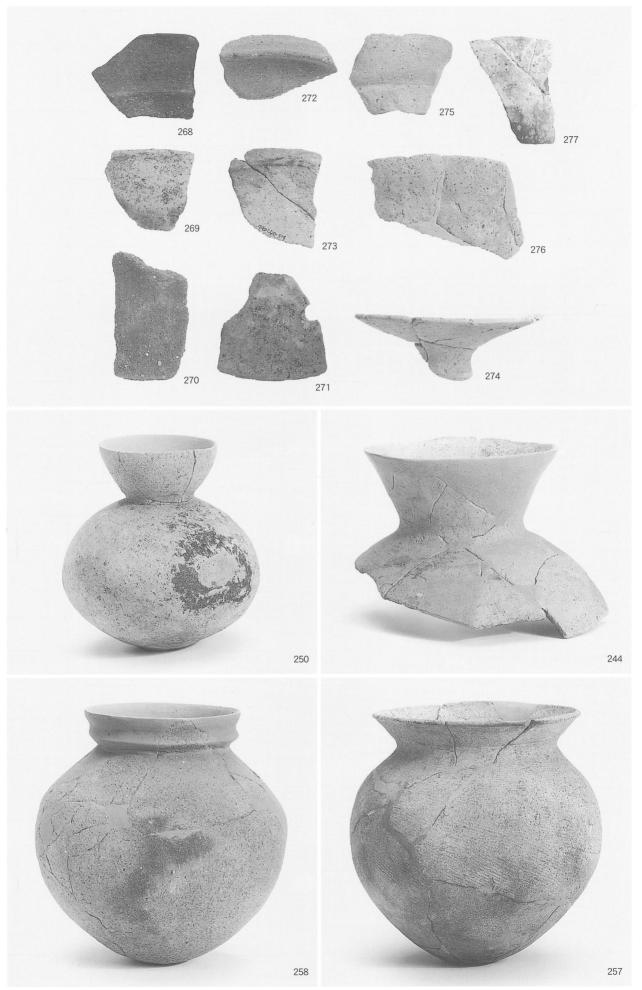


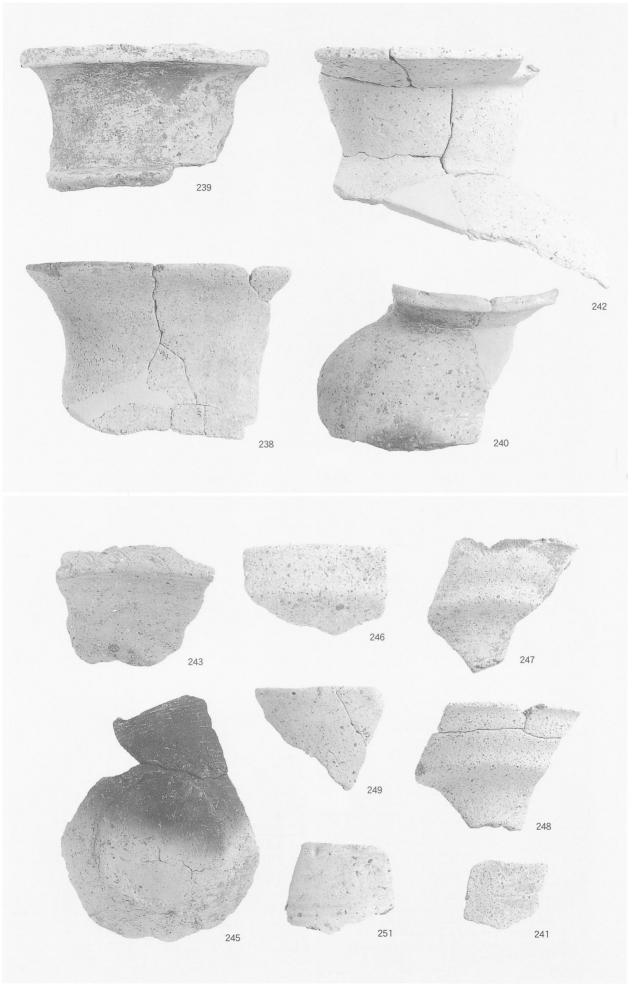


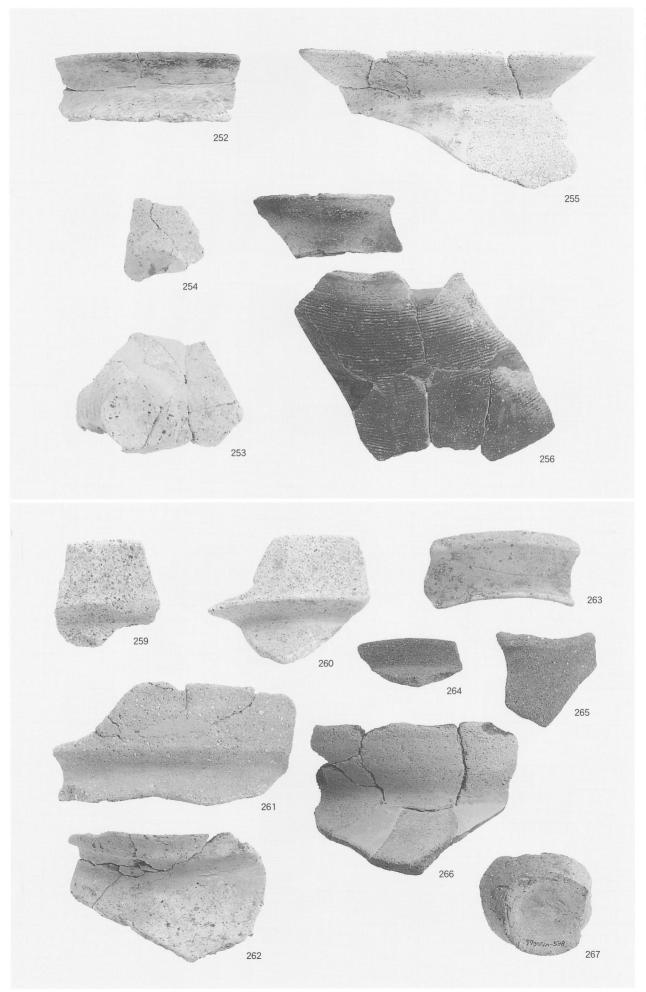


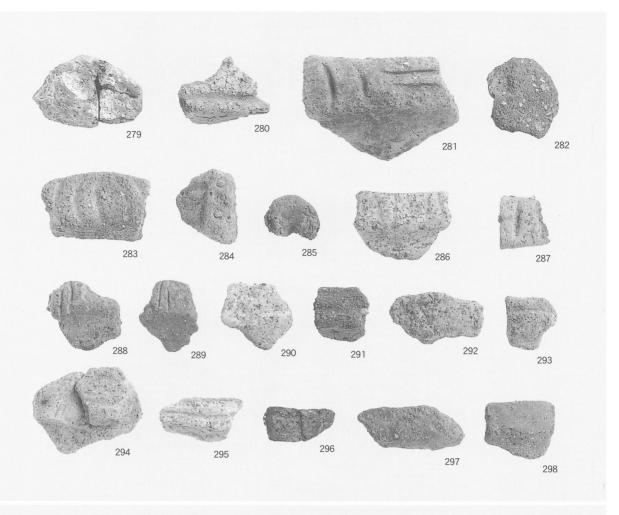


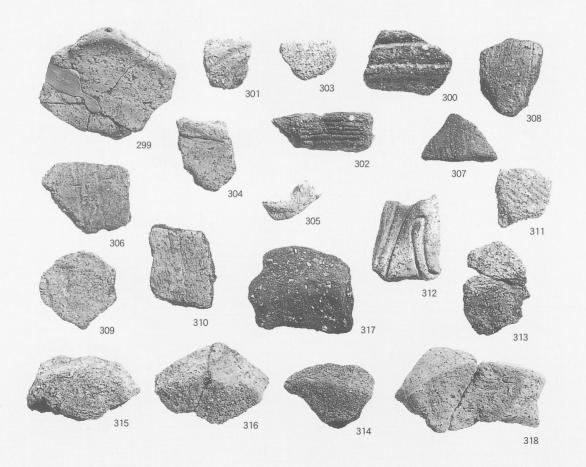


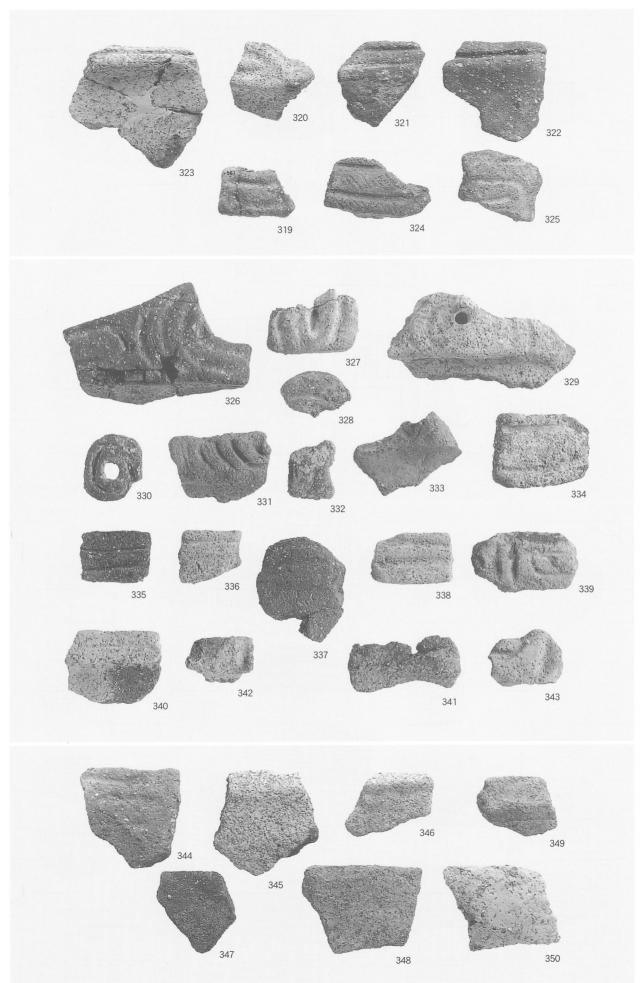


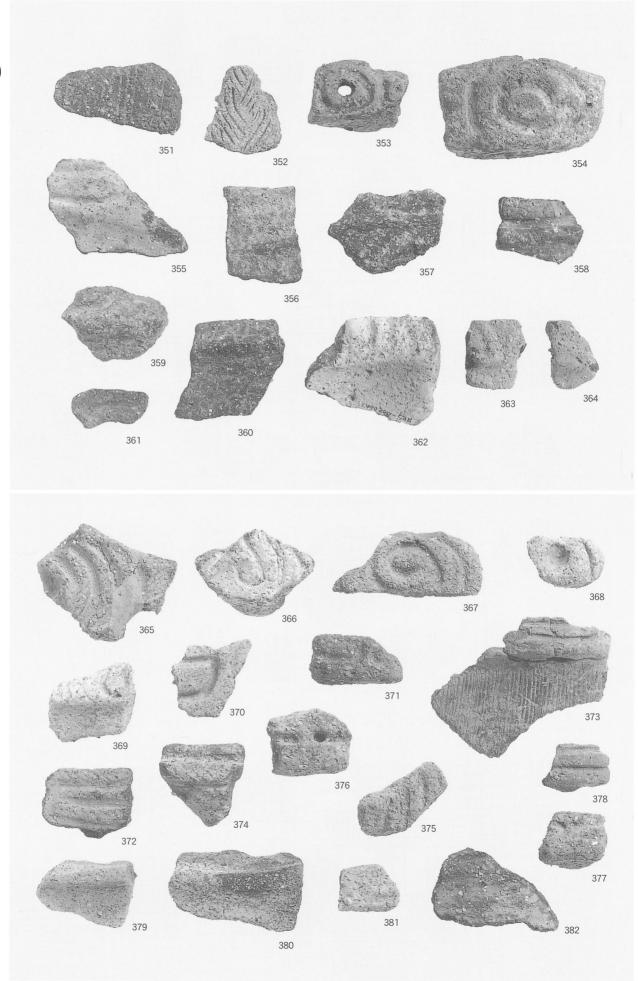




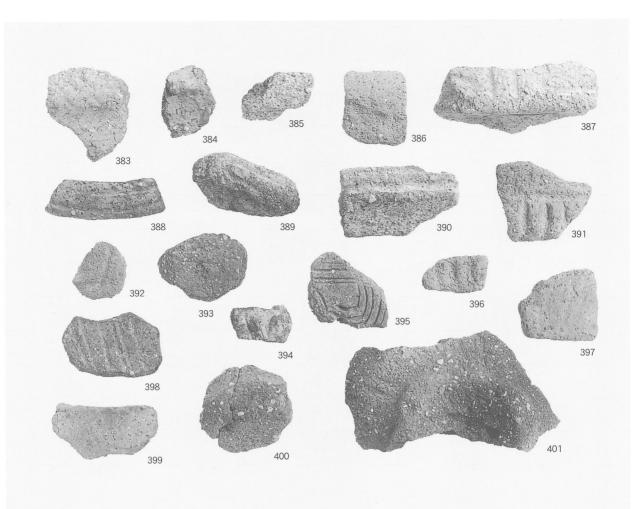


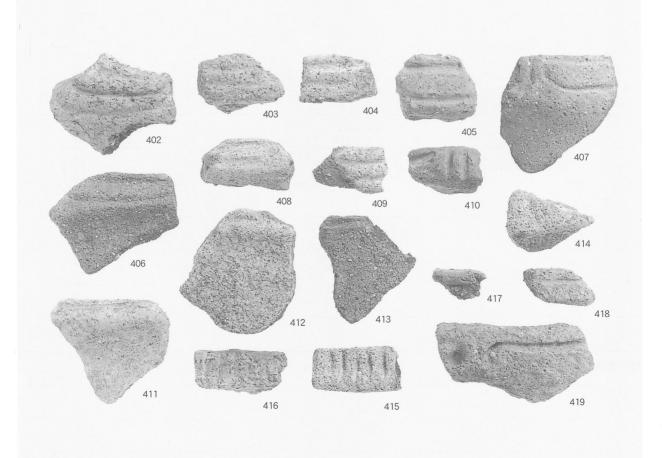


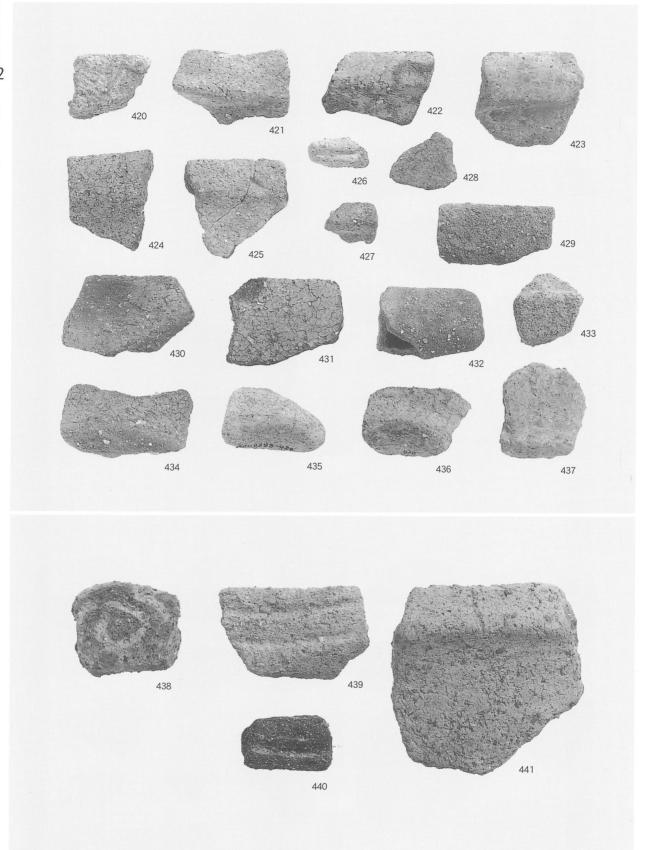




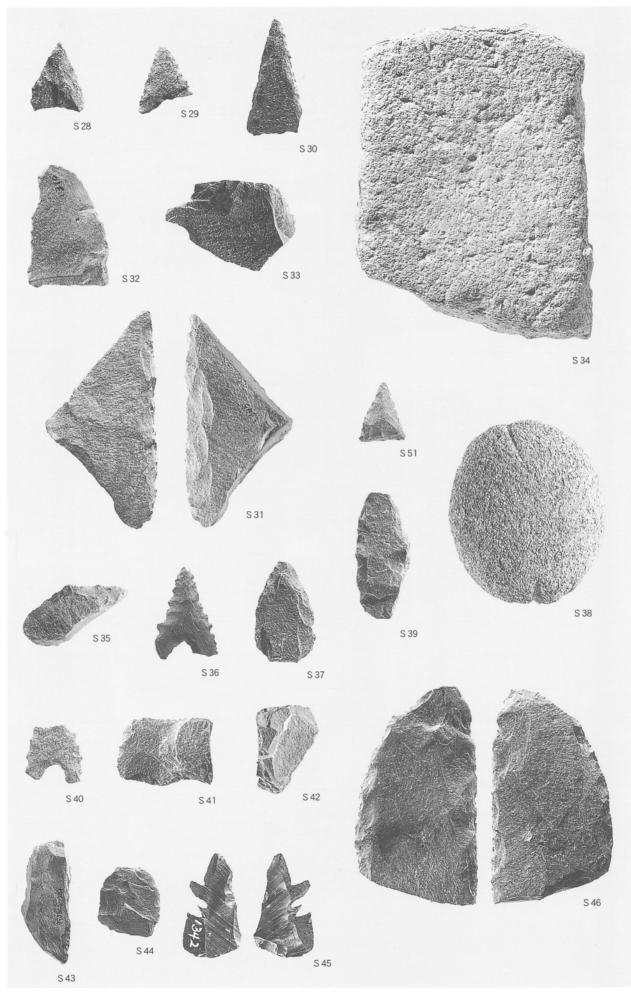
SK373・SD308・SD310・SD357・縄文包含層 6層①

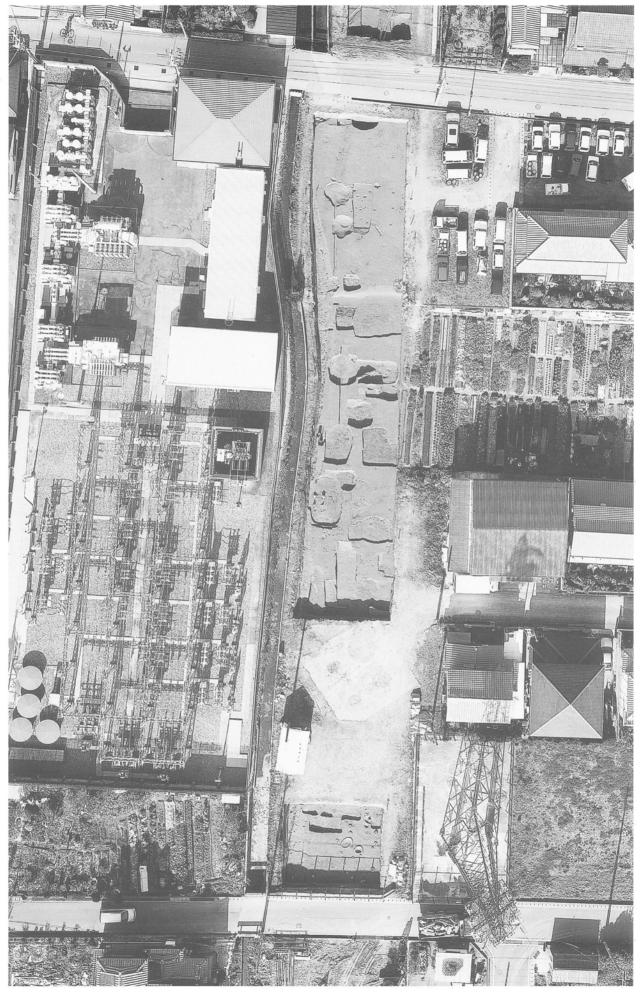






縄文包含層 7 層①・7 層②





155. 下層 全景(上が北)



156. 4区上層 全景(北から)

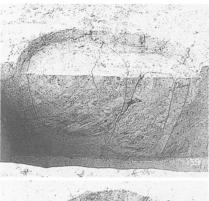


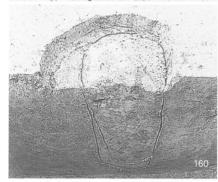
157. 4区上層 全景(南から)

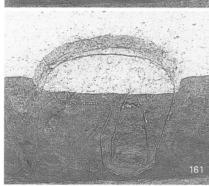


158. 5区上層 全景(北から)

写真図版10 遺構 4区







159. SB813 P854・P855 断面(東から) 160. SB813 P856 断面(東から)



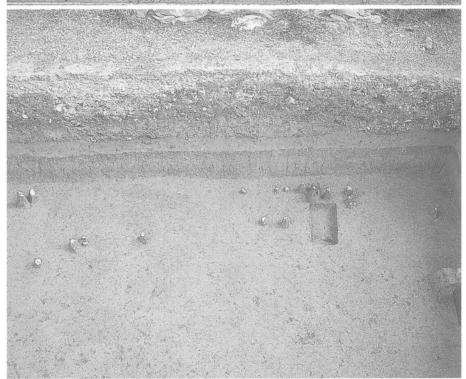
161. SB813 P857 断面(東から) 162. 下層 全景(北から)



163. 下層 全景(南から)



164. 下層 全景(南から)

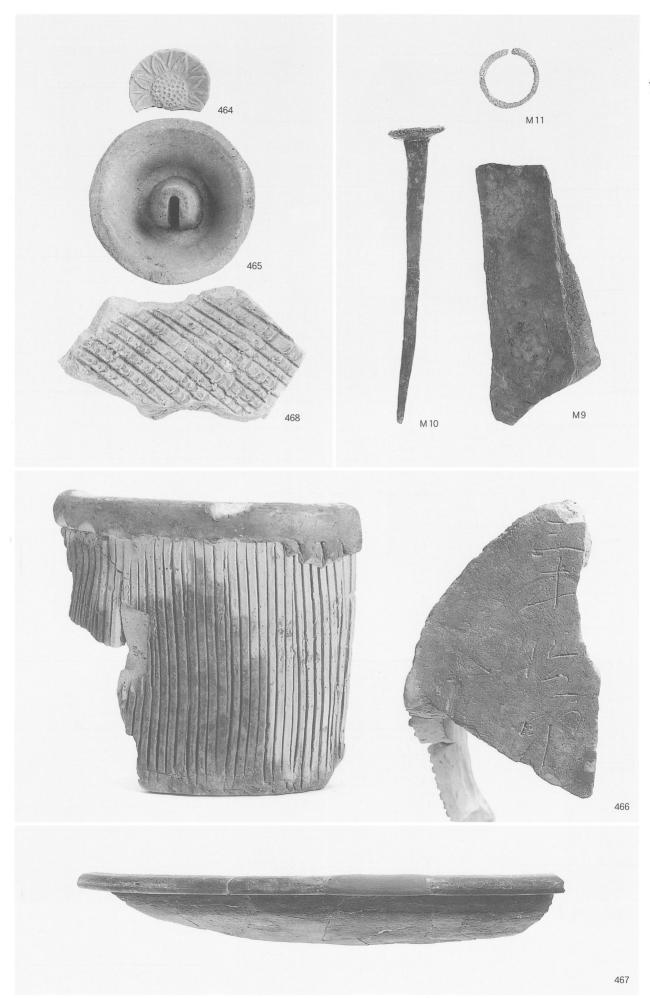


165. 縄文土器出土状況(西から)

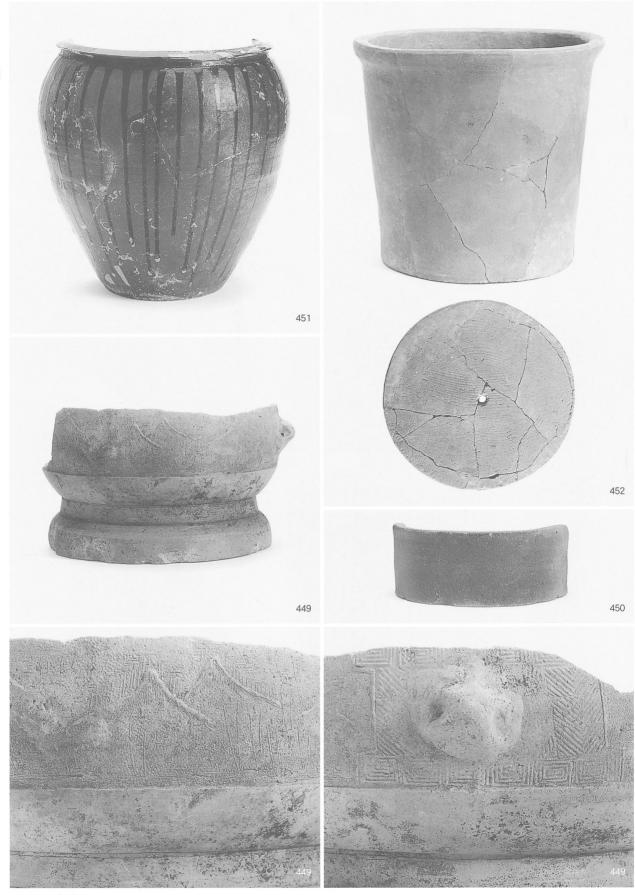


166. 下層 全景(西から)

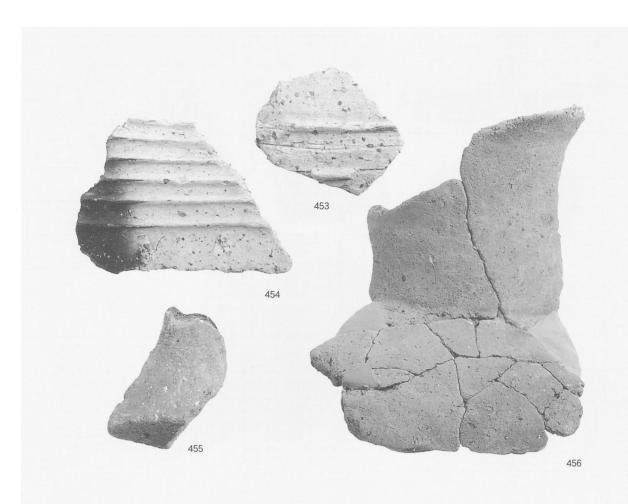


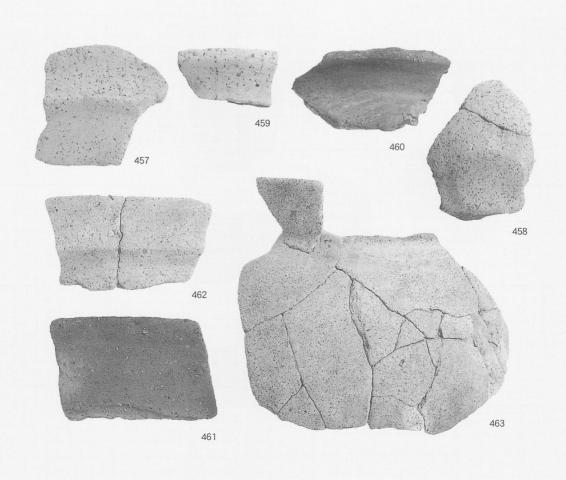


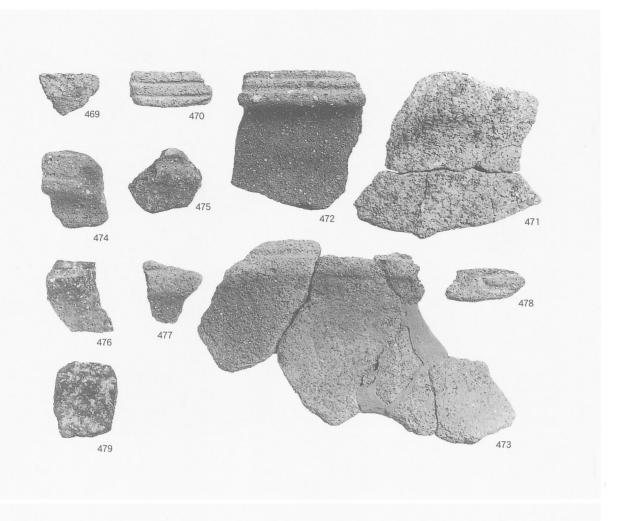
粘土採掘坑、撹乱、鉄器

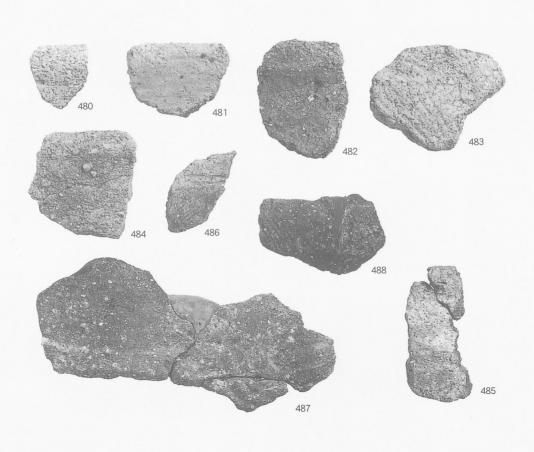


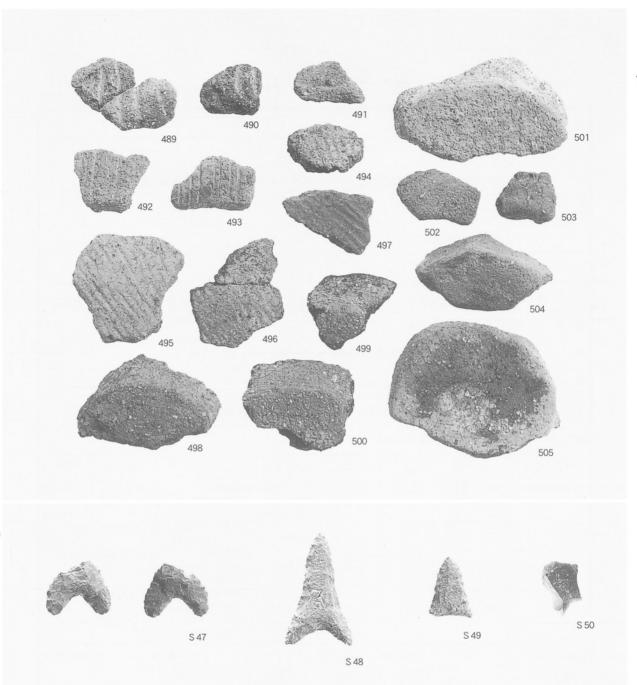
SD803 · 包含層











縄文包含層、石器

報告書抄録

స్ట్	りが	な	とうなんいせき							
書名			東南遺跡							
副書名			(主)太子御津線 [街路龍野線] 都市計画街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻	次 I									
シリーズ名			兵庫県文化財調査報告							
シリーズ番号		第362冊								
編	著 者	名	篠宮 正 松岡千寿・森永速男・寺口祐記・奥田 尚・パリノ・サーヴェイ株式会社・㈱加速器分析研究所							
編	集機	関	兵庫県立考古博物館							
所	在	地	〒675-0142 兵庫県加古郡播磨町大中500 Tel 079-437-5589							
発	行 機	関	兵庫県教育委員会							
所	在	地	〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5 丁目10-1 Tel 078-341-7711							
発 行 年 月 日 2009 (平成21) 年 3 月 18日										
所	収遺跡	名	所在地	コード 市町村	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
東南遺跡			兵庫県揖保郡 太子町鵤	284645	450081	34度 49分 53秒	134度 34分 49秒	確認調査 1996年3月13日 ~3月15日 2000年7月18日 ~8月17日 本発掘調査 1999年11月11日 ~2000年3月2日 2000年6月19日 ~2001年9月14日 2001年11月28日 ~2002年1月31日	確認調查 85㎡ 62㎡ 本発掘調查 2,784㎡ 1,920㎡ 2,784㎡	(主) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年
所収遺跡名			種別	主な時代	主な遺構		主な遺物			特記事項
東南遺跡				縄後弥中古初古後平江 東期生期墳頭墳期安戸 時時時時時時時時時時代代代代代代代	竪穴住居 土坑・流路・溝 竪穴住居 流路・溝 堀立柱建物 土坑 土坑		縄文土器(中期・後期・晩期) 石器(石鏃・石匙・石錐・石錘・磨石・石皿) 弥生土器(前期・中期・後期) 土師器 須恵器・土師器 須恵器・土師器・緑釉陶器			
今回、調査を行った東南遺跡では縄文時代後期・縄文時代晩期・弥生時代中期・古墳時代初頭・古墳時代後期・平安時代・中世・近世の遺構を検出した。 縄文時代後期の遺構は1区で竪穴住居2棟・2区で掘立柱建物1棟・1区~3区・5区で土地を検出した。縄文時代後期の土器は深鉢が主体を占め、波頂部文様に孔を伴うものや同心円文・渦巻文など各種存在している。時期は縁帯文期に限られ、中心は北白川上層1期である。縄文明代晩期は1区で土坑を2基検出した。弥生時代中期は3区で前半の流路を検出した。中期後半に3区で土坑を1基、1区で溝を検出した。古墳時代初頭は3区流路を検出し、2・3区の竪穴住居はこの時期の可能性がある。古墳時代後期は1区で掘立柱建物を1棟検出し、2区で削平を受けた竪穴住居の柱穴のみの建物を1棟検出した。平安時代は3区で木棺墓1基を検出し、全区に亘って条里地割の坪境溝が南北に走っているが、継続して使用しているため現代までの遺物がお土している。										5 区で土坑 司心円文・ る。縄文時 中期後半は 区の竪穴住 で削平を受 し、全区に

^{*}緯度・経度は平成14年4月1日施行の測量法改正による世界測地系にもとづく値である。

兵庫県文化財調査報告 第362冊

東南遺跡

(主)太子御津線[街路龍野線]都市計画街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 I

平成21年3月18日 発行

編 集 兵庫県立考古博物館 〒675-0142 加古郡播磨町大中500 TEL 079-437-5589

発 行 兵庫県教育委員会〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

印 刷 株式会社ソーエイ〒673-0898 明石市樽屋町 6 - 6